

2020年3月期 第2四半期 決算説明会

2019年11月20日

西華産業株式会社
(東証1部 証券コード8061)

本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。



SSC 西華産業株式会社

Copyright©2019 SEIKA CORPORATION

1

皆様、こんにちは。
社長の櫻井でございます。

皆様方には、平素より西華産業株式会社にご関心をお寄せ頂き、
また、決算説明会にご出席賜りまして、誠にありがとうございます。
でございます。

それでは、2020年3月期 第2四半期の決算説明を
始めさせていただきます。

目次

1. 2020年3月期 第2四半期 連結決算概要
2. 2020年3月期 通期 連結決算予想
3. 中期経営計画
4. 環境配慮型商材の取組み
5. 株主還元

★参考資料★



本日の発表は、ご覧の通り

- ・ 2020年3月期 第2四半期の連結決算概要
- ・ 2020年3月期 通期の連結決算予想
- ・ 中期経営計画
- ・ 環境配慮型商材の取組み
- ・ 株主還元

について スライドを用いてご説明させていただきます。

なお、投資家の方々よりご要望いただいております、業績の推移表などにつきましては、参考資料に纏めておりますので、後ほどご覧ください。

1. 2020年3月期 第2四半期 連結決算概要

まずはじめに

2020年3月期の第2四半期 連結決算概要について、
ご説明いたします。

2020年3月期 第2四半期 連結決算概要

前年同期との比較

	2019年3月期 2Q実績	2020年3月期 2Q実績	前 年 同 期 増 減 率
売 上 高	97,676 百万円	62,651 百万円	△35.9 %
営 業 利 益	860 百万円	860 百万円	0.0 %
経 常 利 益	992 百万円	986 百万円	△0.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	837 百万円	471 百万円	△43.7 %

減収減益 ▶ 化学・エネルギー事業で今期大口受渡 計上なし
 ▶ 税金等調整の影響により親会社株主に帰属する四半期純利益減少



SSC 西華産業株式会社

Copyright©2019 SEIKA CORPORATION

4

当社グループの業績は

ご覧の通り、前年同期に比べ 減収減益となりました。

売上高については、前年上期は、化学・エネルギー事業で
 新設発電設備の受渡がありました
 が現進行期の上期は大口受渡がなく 6 2 6 億円となりました。

また、営業利益は子会社の業績が順調に推移した結果
 前年並みを確保しましたが税金等調整の影響で
 親会社株主に帰属する四半期純利益は減少し
 4 億 7, 1 0 0 万円となりました。

2020年3月期 第2四半期 連結決算概要

<単体> 期首予想値と決算値との差異

<単体>	2020年3月期 2Q期首予想	2020年3月期 2Q実績	増減額	増減率
売上高	58,000 百万円	54,655 百万円	△3,345 百万円	△5.8 %
営業利益	550 百万円	365 百万円	△185 百万円	△33.5 %
経常利益	650 百万円	445 百万円	△205 百万円	△31.5 %
四半期純利益	450 百万円	291 百万円	△159 百万円	△35.2 %

<連結> 期首予想値と決算値との差異

<連結>	2020年3月期 2Q期首予想	2020年3月期 2Q実績	増減額	増減率
売上高	67,000 百万円	62,651 百万円	△4,349 百万円	△6.5 %
営業利益	650 百万円	860 百万円	+210 百万円	+32.4 %
経常利益	750 百万円	986 百万円	+236 百万円	+31.5 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	350 百万円	471 百万円	+121 百万円	+34.6 %



5 ページ目は、期首予想との差異について、
取り纏めております。

2020年3月期 第2四半期 連結決算概要

セグメント別 売上高 および セグメント利益の実績

	売上高		セグメント利益	
	2020年3月期 2Q実績	前年同期 増減率	2020年3月期 2Q実績	前年同期 増減率
電力事業	21,203百万円	△29.6%	833百万円	+1.1%
化学・エネルギー事業	14,951百万円	△63.4%	267百万円	△43.5%
産業機械事業	20,456百万円	△2.1%	524百万円	△1.1%
素材・計測事業	559百万円	+1.3%	△85百万円	2019年3月期 2Q実績 セグメント損失 230百万円
グローバル事業	5,480百万円	+2.9%	172百万円	+61.0%
合計	62,651百万円	△35.9%	1,712百万円	+0.5%



各事業ごとの売上高・セグメント利益の実績は
6 ページの通りです。

売上高は電力事業における発電所向け大型部品等の売上が
下期に繰り延べされたことや、化学・エネルギー事業において
前期計上のあった新設の大型発電設備の受渡がなかった
ことにより 626 億円となりました。

セグメント利益は、化学・エネルギー事業で減少しましたが、
グローバル事業において、
欧州、タイおよび中国子会社の業績が伸長し
前期並みの 17 億 1,200 万円となりました。

2020年3月期 第2四半期 連結決算概要

セグメント別 受注高 および 受注残高の実績

	受 注 高		受 注 残 高	
	2020年3月期 2Q実績	前 年 同 期 増 減 率	2020年3月期 2Q実績	前 年 同 期 増 減 率
電 力 事 業	28,945百万円	+45.7%	37,794百万円	+39.2%
化学・エネルギー事業	17,538百万円	△46.2%	65,068百万円	+11.9%
産 業 機 械 事 業	21,890百万円	△2.2%	65,749百万円	+8.2%
素 材 ・ 計 測 事 業	672百万円	+75.6%	551百万円	△54.7%
グ ロ ー バ ル 事 業	6,048百万円	+10.3%	3,390百万円	+29.7%
合 計	75,095百万円	△7.0%	172,554百万円	+15.1%



7 ページは

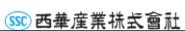
各事業の受注高および受注残高の実績となります。

2. 2020年3月期 通期 連結決算予想

それではここから、
当社グループの 通期の連結決算予想について
ご説明いたします。

2020年3月期 通期 連結決算予想

	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 2Q実績	2020年3月期 通期予想	増減率 (前期比)
売上高	157,145百万円	62,651百万円	135,000百万円	△14.0%
営業利益	2,118百万円	860百万円	2,400百万円	+13.3%
経常利益	2,418百万円	986百万円	2,700百万円	+11.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,587百万円	471百万円	1,650百万円	+3.9%
受注高	150,429百万円	75,095百万円	185,000百万円	+23.0%
受注残高	160,110百万円	172,554百万円	210,000百万円	+31.2%

9

9 ページ目をご覧ください。

2020年3月期 通期の業績は、

売上高 1,350億円

営業利益 24億円

経常利益 27億円

親会社株主に帰属する当期純利益

16億5,000万円

を見込んでおります。

なお、受注高は、前年比23%増の 1,850億円

受注残高は、前年比31%増の 2,100億円

であります。

2020年3月期 通期 連結決算予想

セグメント別 売上高 および セグメント利益 予想

	売上高			セグメント利益		
	2020年3月期 2Q実績	2020年3月期 通期予想	増減率予想 (対前期比)	2020年3月期 2Q実績	2020年3月期 通期予想	増減率予想 (対前期比)
電力事業	212.0 億円	385 億円	△19.1%	8.3 億円	16.6 億円	+18.0%
化学・エネルギー事業	149.5 億円	345 億円	△35.6%	2.6 億円	8.2 億円	+8.3%
産業機械事業	204.5 億円	470 億円	+10.3%	5.2 億円	14.0 億円	+3.1%
素材・計測事業	5.5 億円	20 億円	+32.5%	△0.8億円	0.7 億円	2019年3月通期実績 セグメント損失 1.7億円
グローバル事業	54.8 億円	130 億円	+12.0%	1.7 億円	2.6 億円	△33.3%
合計	626.5 億円	1,350 億円	△14.1%	17.1 億円	42.1 億円	+12.6%

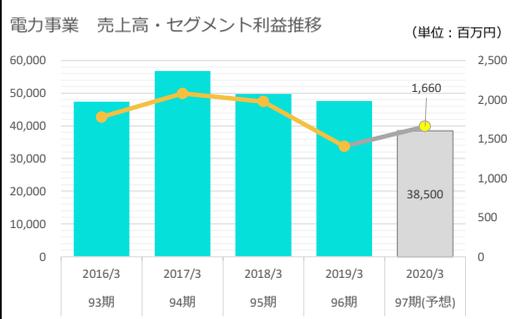


10 ページ目をご覧ください。

こちらは、セグメント別の売上高とセグメント利益の予想を纏めております。

2020年3月期 通期 連結決算予想

電力事業	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 上期実績	2020年3月期 下期予想	2020年3月期 通期予想	増減率予想 (対前期比)
売上高	476 億円	212 億円	173 億円	385 億円	△19.1%
セグメント利益	14.0 億円	8.3 億円	8.3 億円	16.6 億円	+18.0%
受注高	402 億円	289 億円	361 億円	650 億円	+61.7%
受注残高	300 億円	377 億円	-	565 億円	+88.3%



事業概況

▶ 定期検査工事、更新工事等で堅調に推移

下期の見通し

- ▶ 火力発電所向け大型部品の更新
- ▶ 原子力発電所向け再稼働対策工事
- ▶ 水力発電所向け更新工事を見込む



SSC 西華産業株式会社

Copyright©2019 SEIKA CORPORATION

11

ここからは、各セグメントごとの通期予想をご説明いたします。

まず最初に電力事業は、今期も堅調に推移するものと予想しております。

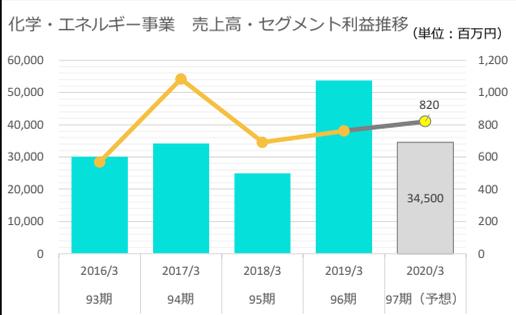
火力発電所向け大型部品の更新、原子力発電所向け再稼働対策工事および水力発電所向け更新工事が計画されており

通期の受注高は650億円を見込んでおります。

なお、通期の売上高は大口案件の受渡がなく385億円となりますが、中小口案件の積み上げによりセグメント利益は16億6千万円を予想しております。

2020年3月期 通期 連結決算予想

化学・エネルギー事業	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 上期実績	2020年3月期 下期予想	2020年3月期 通期予想	増減率予想 (対前期比)
売上高	536 億円	149 億円	196 億円	345 億円	△35.6%
セグメント利益	7.6 億円	2.6 億円	5.6 億円	8.2 億円	+8.3%
受注高	498 億円	175 億円	285 億円	460 億円	△7.6%
受注残高	624 億円	650 億円	-	740 億円	+18.6%



事業概況

- ▶一般産業用の自家発電設備やバイオマス発電設備
- ▶上期に鉄鋼会社向け新設発電設備約70億円受注

下期の見通し

- ▶製紙会社向けにバイオマス発電設備約80億円の受注を見込む



SSC 西亜産業株式会社

Copyright©2019 SEIKA CORPORATION

12

次に、化学・エネルギー事業です。

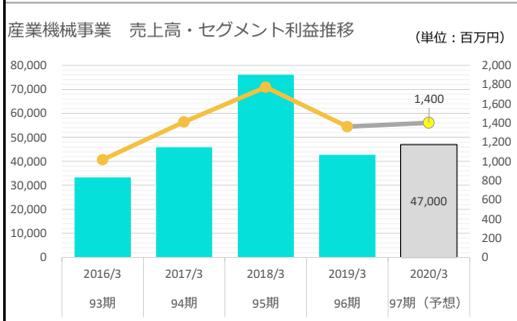
本事業は、一般産業向けの自家発電設備およびバイオマス発電設備などの再生可能エネルギー関連設備を取扱っております。

売上高は、通期で345億円、セグメント利益は8億2千万円を予想しております。

なお、受注高は、上期の鉄鋼会社向け新設発電設備約70億円の受注に続き、下期も製紙会社向けバイオマス発電設備の受注 約80億円を見込み、通期で460億円を予想しています。

2020年3月期 通期 連結決算予想

産業機械事業	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 上期実績	2020年3月期 下期予想	2020年3月期 通期予想	増減率予想 (対前期比)
売上高	426 億円	204 億円	276 億円	470 億円	+10.3%
セグメント利益	13.6 億円	5.2 億円	8.8 億円	14.0 億円	+3.1%
受注高	477 億円	218 億円	372 億円	590 億円	+23.7%
受注残高	643 億円	657 億円	-	760 億円	+18.2%



事業概況

▶ 繊維、フィルム、新素材、飲料・食品、電気自動車等の幅広い産業分野に対して設備の販売やメンテナンスを提供

下期の見通し

- ▶ リチウムイオン電池関連設備商談の売上約90億円を見込む
- ▶ 食品会社向けバイオマス発電設備の受注を見込む



(SC) 西華産業株式会社

Copyright©2019 SEIKA CORPORATION

13

続いて、産業機械事業は、繊維・フィルム、新素材、飲料・食品などの幅広い産業分野に設備の販売やメンテナンスを提供しております。また、以前より取り組んでおります電気自動車関連事業については、後ほどご説明いたします。

通期の状況ですが、リチウムイオン電池用関連設備の売上を約90億円見込んでおり、また、子会社の日本ダイヤバルブの業績が引き続き好調に推移することより、売上高 470 億円、セグメント利益 14 億円を予想しております。

なお、受注高は中国向け電気自動車用モーター製造設備や、食品会社向けバイオマス発電設備等の受注により 590 億円を予想しております。

2020年3月期 通期 連結決算予想

素材・計測事業	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 上期実績	2020年3月期 下期予想	2020年3月期 通期予想	増減率予想 (対前期比)
売上高	15.1 億円	5.5 億円	14.5 億円	20 億円	+32.5%
セグメント利益	△1.7 億円	△0.8 億円	1.5 億円	0.7 億円	-
受注高	5.7 億円	6.7 億円	13.3 億円	20 億円	+250.8%
受注残高	4.3 億円	5.5 億円	-	5 億円	+16.2%



事業概況

- ▶国内外の先端技術を駆使した計測機器
環境保全用計測機器や水処理関係装置、
電子機器用プリント基板などを扱う

下期の見通し

- ▶事業ポートフォリオの最適化により
赤字脱却を目指す



SSC 西華産業株式会社

Copyright©2019 SEIKA CORPORATION

14

素材・計測事業についてご説明いたします。

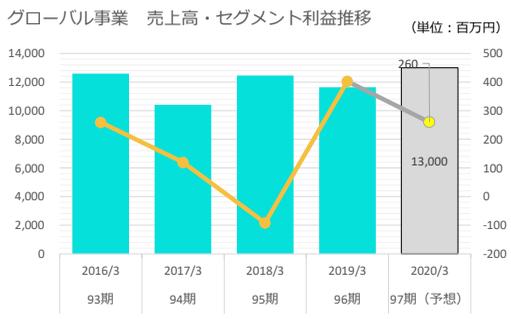
本事業は、国内外の先端技術を駆使した計測機器を中心に、
環境保全用計測機器や水処理関係装置、
電子機器用プリント基板などを取り扱っております。

通期売上高は 20 億円、セグメント利益は 7,000 万円、
受注高は 20 億円を予想しております。

事業内容の見直しなどを進め、ようやくセグメントの黒字化が
見えてきたところであります。

2020年3月期 通期 連結決算予想

グローバル事業	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 上期実績	2020年3月期 下期予想	2020年3月期 通期予想	増減率予想 (対前期比)
売上高	116 億円	54.8 億円	75.2 億円	130 億円	+12.0%
セグメント利益	4.0 億円	1.7 億円	0.9 億円	2.6 億円	△33.3%
受注高	120 億円	60.4 億円	69.6 億円	130 億円	+8.3%
受注残高	28.2 億円	33.9 億円	-	30 億円	+6.4%



事業概況

- ▶ 欧州子会社ツルミヨーロッパグループの業績が好調
- ▶ 西華産業タイランド、天津ダイヤバルブの業績が順調に推移

下期の見通し

- ▶ 業績低迷している一部子会社の影響を受け、セグメント利益が2.6億円に留まる見込み



SSC 西華産業株式会社

Copyright©2019 SEIKA CORPORATION

15

最後に、グローバル事業についてご説明いたします。

当社グループは、欧州、北米、アジアにおいて12カ国、25拠点の海外ネットワークを有しています。

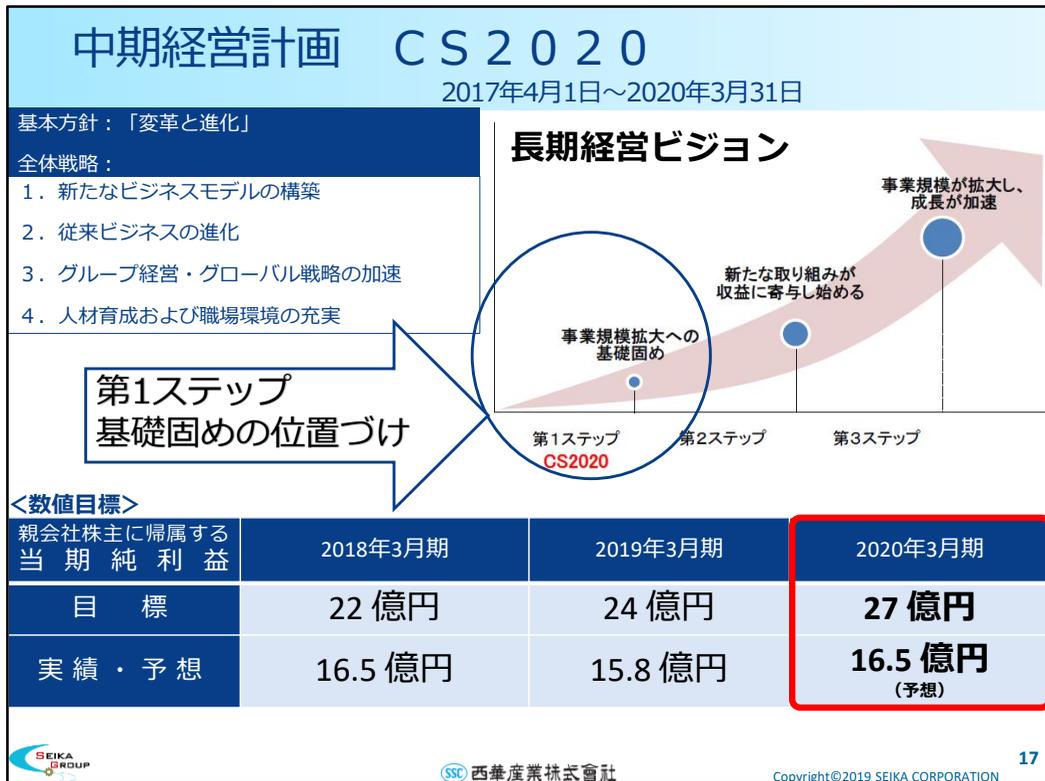
中でもツルミヨーロッパグループ、西華産業タイランド、天津ダイヤバルブの業績が順調に推移することから通期の売上高は130億円を予想しております。

なお、セグメント利益は業績が低迷している一部の子会社の影響を受け2億6千万円に留まる見込みです。

通期の受注高は130億円を予想しております。

3. 中期経営計画

次に、現在取り組んでおります中期経営計画の進捗状況につきましてご説明いたします。



2017年より開始した3カ年の中期経営計画CS2020は最終年度を迎えております。

本中期経営計画は、長期経営ビジョンの第1ステップと位置付け、変革と進化を基本方針に掲げ、事業規模拡大の基礎固めに取組んで参りました。

しかしながら、数値目標の親会社株主に帰属する当期純利益は最終年度も未達となる見通しで、多くの反省材料を残すものとなりました。

来年4月より開始する次期中期経営計画の検討を進めるに際し、それぞれの事業を取り巻くビジネス環境を再分析し、課題の抽出を行い、より実効性の高い計画を立案して参ります。

当社は引き続き、長期経営ビジョンに掲げる

「社会がどのように変化しようとも社会に貢献する価値ある企業グループ」の実現に向け邁進して参ります。

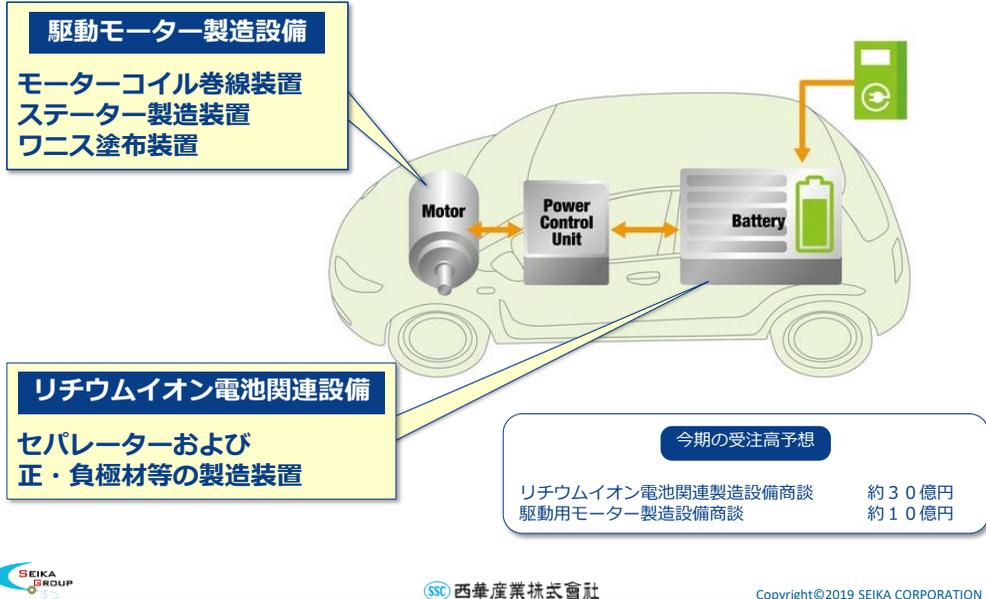
現進行期も残り4ヶ月強となりましたが中期経営計画CS2020の目標に少しでも近づくように努力して参ります。

4. 環境配慮型商材の取組み

ここからは、
現在当社が注力している環境配慮型商材の取組みについて
説明させていただきます。

環境配慮型商材の取組み

電気自動車関連事業



まず最初に以前より取組んでおります中国向け電気自動車関連事業についてご説明いたします。

中国政府は2025年に新エネルギー車を700万台以上出荷する計画を公表しており、その普及を推進しております。その中でも新エネルギー車のコア部品であるリチウムイオンバッテリー用セパレーター、モーターや駆動システム等に対して、外資系企業の進出を奨励するなど、積極的な働きかけをしております。

このような背景を踏まえて、当社は従来から取組んでいるリチウムイオンバッテリー関連設備に加え、駆動用モーターやインバーター用製造設備の拡販に注力しております。

ここ最近のリチウムイオンバッテリー用セパレーター市場においては、過当競争の結果、セパレーター製造メーカーの統廃合が進むなど、混とんとした状況にあり、現状 新規設備投資には慎重な姿勢が見られます。

但し、電気自動車には、航続距離の延長など、常に性能向上への要求が伴い、リチウムイオンバッテリー用セパレーターフィルムにも、より高性能な商品への需要が高まっています。来年前半には製品ごとの市場も整理され、高性能セパレーターフィルム向けにもう一段の設備投資があると予想しております。当社といたしましては、リチウムイオンバッテリー関連設備は、電気自動車事業の中核商材でもあることから引き続ききめ細かな営業を行い受注に繋げて参ります。

一方、もうひとつ当社が注力している電気自動車用モーターは、セパレーターフィルム市場と異なり、供給不足が顕著となっており設備導入計画が具体化しつつあります。自動車の駆動方式がエンジン駆動からモーター駆動に変更になったことに関連して、搭載されるモーターは、車1台あたり約100個程になり、モーター自体も小型かつ高精度化が求められております。当社は豊富な実績と高い技術を持つ日本メーカーを起用し、モーターコイル巻線装置や、ステーター製造装置などの商談を展開しております。

今期の受注は、
電池関連製造設備商談で 約30億円
駆動用モーター製造設備商談で 約10億円
を見込んでおります。

環境配慮型商材の取組み

船舶用排ガス浄化装置（SOxスクラバー）商談

ガス浄化装置（SOxスクラバー）商談

船舶用排ガス浄化装置SOxスクラバー用の配管用流量コントロール/シャットオフを目的とした各種ダンパー、各種バルブ等



今期の受注高予想

約10億円

Soxとは 硫黄酸化物

SOxスクラバーシステムとは

船舶に搭載される主機関や発電機関の排ガスから硫黄酸化物（SOx）を取り除く装置

マルポール条約（海洋汚染防止条約）とは

船舶の航行や事故による海洋汚染を防止することを目的として、規制物質の投棄・排出の禁止、通報義務、その手続き等について規定するための国際条約とその議定書

マルポール条約SOx規制とは

船舶の排ガス中のSOx濃度規制が強化され、硫黄分の上限は段階的に引き下げられており、2020年からは3.5%から0.5%以下に



SSC 西華産業株式会社

Copyright©2019 SEIKA CORPORATION

20

次に、船舶用排ガス浄化装置です。

船舶の航行や事故による海洋汚染を防止することを目的とした国際条約であるマルポール条約により、船舶の排ガス中のSOx いわゆる硫黄酸化物の濃度規制が強化されました。その対策の一つとして注目を浴びておりますのが排ガス浄化装置である「スクラバー」です。

当社では、メーカーと協力し、スクラバー用に開発したダンパーや、高性能バルブ等を造船メーカーに販売しております。

今期の受注高は、約10億円を見込んでおりますが今後さらに受注は拡大していくものと考えております。

環境配慮型商材の取組み

レーザー式ガス濃度計のご紹介

レーザー式ガス濃度計

- ▶火力発電設備やごみ焼却設備の排ガス中に含まれる酸素や一酸化炭素濃度を測定
- ▶窒素酸化物や、硫黄酸化物などの有害物質を含む排ガス測定

特徴

- ・リアルタイム測定
- ・メンテナンスフリー



今期の受注高予想

約4億円



SSC 西華産業株式会社

Copyright©2019 SEIKA CORPORATION

21

最後に、素材・計測事業で注力しているレーザー式ガス濃度計を説明いたします。

本製品は 火力発電設備やごみ焼却設備の排ガス中に含まれる酸素や一酸化炭素濃度を測定する濃度計です。レーザーによるリアルタイムでの測定とメンテナンスフリーが特徴です。この高精度の濃度計により、燃焼効率を改善することができ温室効果ガスや燃料の削減に役立っております。

また、化学工場の生産設備から排出される窒素酸化物や、硫黄酸化物などの有害物質を含む排ガス測定にも利用されています。

前期の受注高は 約2億円でしたが、現進行期は 約4億円を予定しており今後さらに拡大を期待しております。

以上、3つの商材を説明いたしました。当社は引き続き環境配慮型商材の開拓や拡販につとめ、持続可能な社会の実現に向け貢献してまいります。

5. 株主還元

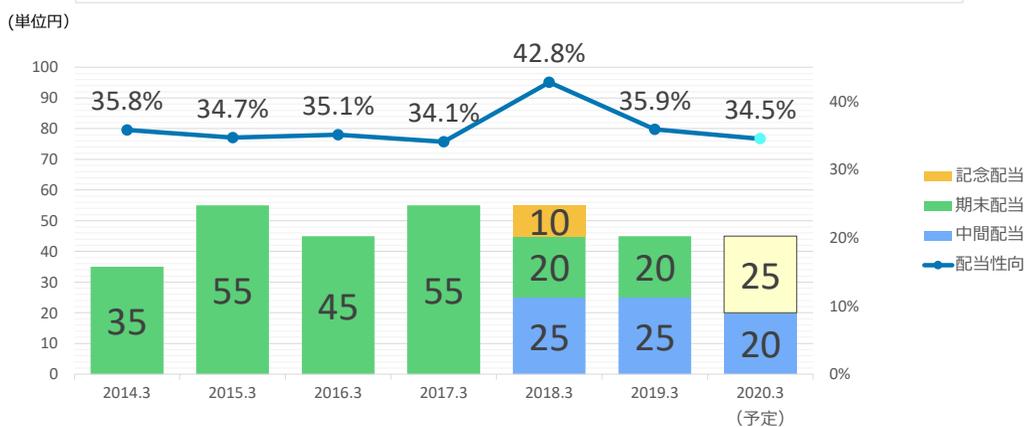
最後に、
株主還元につきまして、ご説明いたします。

株主還元 配当について

2017年10月1日付で
普通株式5株を1株に併合しております。
影響する箇所につきましては、
株式併合後の数値にて表記しております。

基本方針

株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとしており、
安定的な配当をすることを基本方針としております。
営業・財務両面にわたる効率的な業務運営により、経営基盤の強化を図るとともに、
新しい事業の開発などの資金需要に柔軟に対応しながら、
連結配当性向 35%を目途にいたします。



SSC 西華産業株式会社

Copyright©2019 SEIKA CORPORATION

23

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとし、安定的な配当をする事を基本方針としております。また、連結配当性向は35%を目途にしております。

2020年3月期の配当につきましては、中間配当20円に期末配当25円を加えた年間45円を予定しております。

なお、5月に取締役会で決議した自己株式取得につきましては予定通り進めております。

今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

ご清聴ありがとうございました

将来の予測に関する注意事項：

本資料にて開示されておりますデータおよび将来に関する予測につきましては、本日現在入手可能な情報に基づくものであり、予測不能、若しくは不確定な要因により、大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。

IRに関するお問い合わせ先

西華産業株式会社 経営企画本部 企画部
Tel : 03-5221-7117 Fax : 03-5221-7130
E-mail : SMB002@jp.seika.com

以上をもちまして、

2020年3月期 第2四半期の決算説明を
終了させて頂きます。

皆様、ご清聴、誠にありがとうございました。

★参考資料★ 2020年3月期第2四半期 決算説明会

参考資料

1. 会社概要
2. 西華産業の歩み
3. 国内ネットワーク
4. 海外ネットワーク
5. 業績の推移
6. 2020年3月期 第2四半期 連結決算概要
7. 2020年3月期 通期 連結決算予想
8. 経営指標の推移
9. E S G の取組み
10. 自己株式取得について

1.会社概要

社名	西華産業株式会社（英名：SEIKA CORPORATION）	 <p>本社：丸の内 新東京ビル</p>
本社所在地	〒100-0005 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号	
設立	1947（昭和22）年10月1日	
代表者	代表取締役社長 櫻井 昭彦	
資本金	67億28百万円	
従業員数	981名（連結）310名（単体） 2019年9月現在	
主な事業内容	各種プラント、機械装置・機器類、環境保全設備、 電子情報システム機器類の販売および輸出入	
事業所	国内：本社、大阪支社、福岡支店、広島支店ほか 海外：台北支店、ソウル支店、シンガポール支店ほか	全19拠点 全4拠点
関係会社 拠点	国内：9社 国内拠点：34拠点	海外：16社 海外拠点：21拠点



2.西華産業の歩み①



1947.10 旧三菱商事株式会社の解散に伴い、同社 関係者が門司市（現 北九州市門司区）に資本金195千円にて当社設立

1948～1951 日本各地に事務所設立（長崎、福岡、大阪、広島、東京、高松）

1961.10 株式を東京証券取引所第一部に上場

1974.01 ドイツ（デュッセルドルフ）に現地法人 Seika Sangyo GmbH を設立

1983.11 ドイツに（株）鶴見製作所との合弁会社 Tsurumi(Europe)GmbHを設立

1994.04 アメリカ（ロサンゼルス）に現地法人 SEIKA MACHINERY INC.を設立

2000.07 韓国（ソウル）にソウル支店開設

2001.08 登記上の本店を北九州市小倉北区から東京都千代田区へ移転

2004.01 中国（上海）に現地法人西華貿易（上海）有限公司を設立

2005.04 日本ダイヤバルブ株式会社を子会社化

2.西華産業の歩み②



2009.01 フランス COMPAGNIE EUROPEENNE AFRIQUE ASIE S.A.S. を子会社化

2010.02 株式会社竹本を子会社化

2012.01 シンガポール支店を開設

2012.04 西華デジタルイメージ株式会社を設立

2012.12 タイ（バンコク）に現地法人Seika Sangyo (Thailand) Co., Ltd.を設立

2015.02 タイ（プラチンプリ）に現地法人Seika YKC Circuit (Thailand) Co., Ltd.を設立

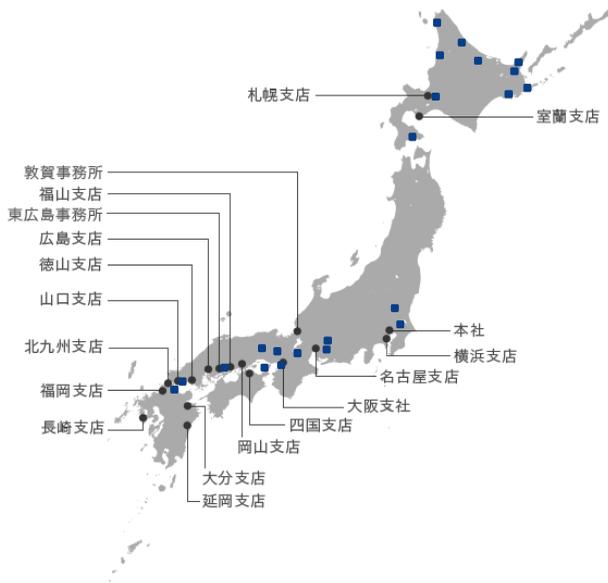
2015.05 名南共同エネルギー株式会社を設立

2016.03 敷島機器株式会社を子会社化

2019.01 ベトナム（ホーチミン）に現地法人SEIKA SANGYO (VIETNAM) COMPANY LIMITEDを設立

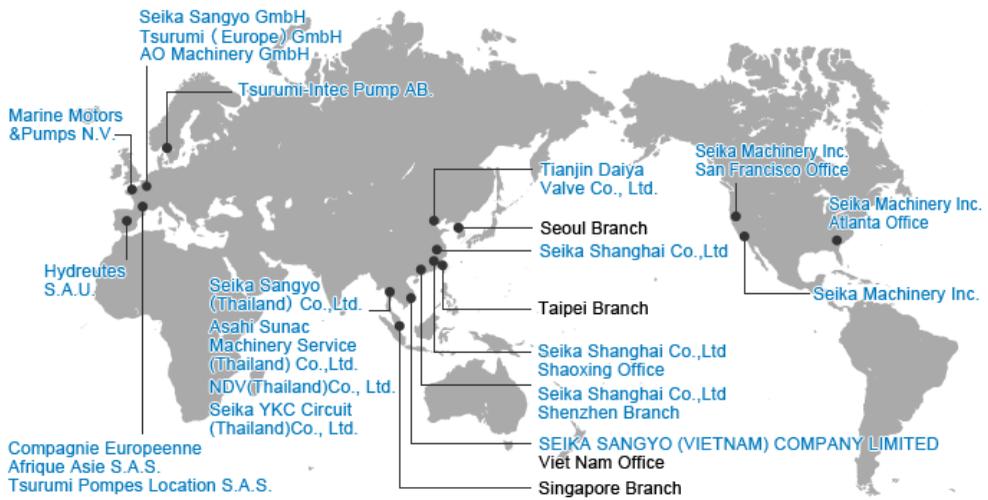
2019.04 敦賀事務所を開設

3.国内ネットワーク



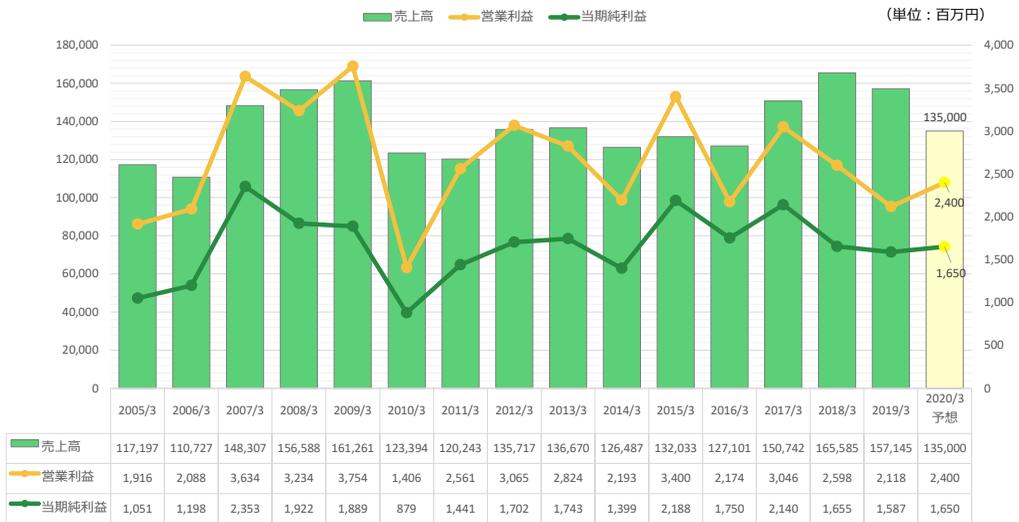
- **西華産業**
東京（本社）、大阪、札幌、室蘭、横浜、名古屋、四国、岡山、敦賀、福山、広島、東広島、徳山、山口、福岡、北九州、大分、延岡、長崎
- **日本タイヤバルブ**
東京（本社）、大阪、名古屋、岡山、北九州
- **竹本** 神戸（本社）、高砂、三原
- **東西実業** 東京
- **竹本** 神戸（本社）、高砂、三原
- **エステック** 東京（本社）、大阪、つくば
- **テンフィートライト**
東京（本社）、大阪、高松、福岡
- **日本エゼクターエンジニアリング**
大阪（本社）、和歌山
- **西華デジタルイメージ** 東京
- **名南共同エネルギー** 知多
- **敷島機器**
札幌（本社）、羽幌、函館、浦河、道東、根室、標津、羅臼、湧別、稚内、枝幸

4.海外ネットワーク

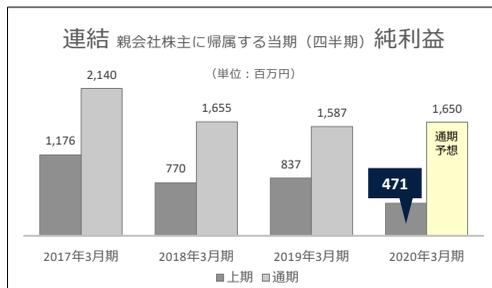
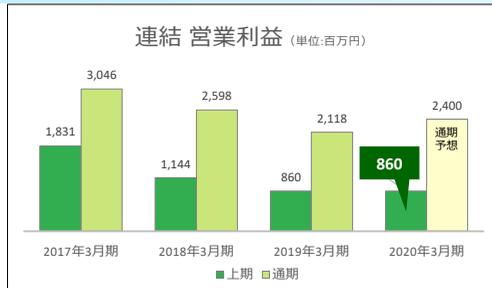


5.業績の推移

連結 売上高、利益、の推移



6.2020年3月期 第2 四半期 連結決算概要①



6.2020年3月期 第2四半期 連結決算概要② (セグメント別 売上高推移)

(単位：百万円)

セグメント売上高 推移 (四半期)

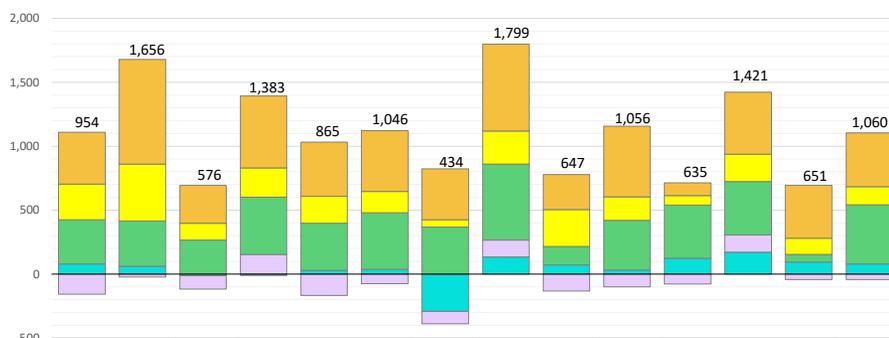


6.2020年3月期 第2四半期 連結決算概要③

(セグメント別 セグメント利益推移)

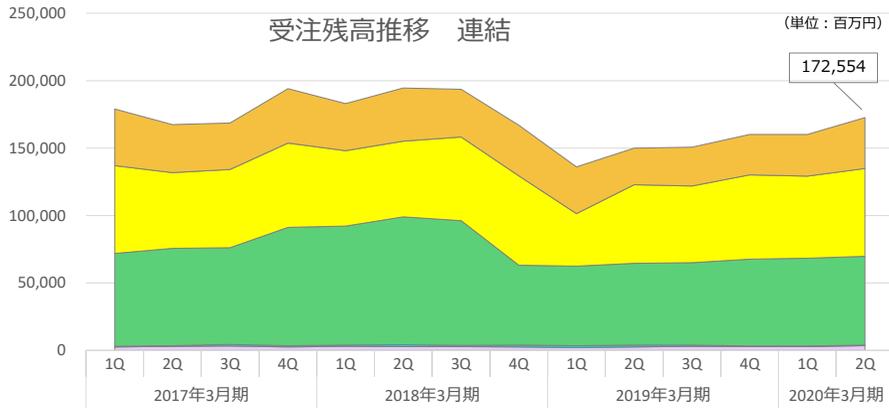
セグメント利益 推移 (四半期)

(単位：百万円)



	2017年3月期				2018年3月期				2019年3月期				2020年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
1.電力事業	406	818	296	561	423	474	399	681	273	550	100	484	413	420
2.化学エネルギー事業	280	445	130	229	211	168	55	257	288	185	74	215	126	141
3.産業機械事業	344	354	267	448	369	442	369	594	143	387	416	418	61	463
4.素材・計測事業	-157	-22	-105	154	-168	-76	-97	132	-131	-99	-77	133	-43	-42
5.グローバル事業	80	62	-13	-9	29	37	-292	135	73	33	124	172	93	79

6.2020年3月期 第2四半期 連結決算概要④ (セグメント別 受注残高推移)



	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
	2017年3月期				2018年3月期				2019年3月期				2020年3月期	
■ 1.電力事業	42,109	35,673	34,431	40,349	35,052	39,339	35,402	37,387	34,682	27,149	28,732	30,052	30,916	37,794
■ 2.化学エネルギー事業	64,887	56,033	58,017	62,320	55,836	56,090	62,038	66,336	38,826	58,135	56,686	62,481	60,860	65,068
■ 3.産業機械事業	69,028	72,129	71,695	87,923	88,235	94,895	92,500	59,257	59,159	60,759	61,154	64,314	65,090	65,749
■ 4.素材・計測事業	418	667	1,095	811	992	1,284	1,079	1,387	1,312	1,217	1,057	438	445	551
■ 5.グローバル事業	2,497	2,895	3,281	2,552	2,873	2,800	2,635	2,456	2,055	2,614	2,900	2,822	2,694	3,390

7.2020年3月期 通期 連結決算予想①

セグメント別 売上高 および セグメント利益 予想

	売上高			セグメント利益		
	2020年3月期 2Q実績	2020年3月期 通期予想	増減率予想 (対前期比)	2020年3月期 2Q実績	2020年3月期 通期予想	増減率予想 (対前期比)
電力事業	212.0 億円	385 億円	△19.1%	8.3 億円	16.6 億円	+18.0%
化学・エネルギー事業	149.5 億円	345 億円	△35.6%	2.6 億円	8.2 億円	+8.3%
産業機械事業	204.5 億円	470 億円	+10.3%	5.2 億円	14.0 億円	+3.1%
素材・計測事業	5.5 億円	20 億円	+32.5%	△0.8億円	0.7 億円	2019年3月通期実績 セグメント損失 1.7億円
グローバル事業	54.8 億円	130 億円	+12.0%	1.7 億円	2.6 億円	△33.3%
合計	626.5 億円	1,350 億円	△14.1%	17.1 億円	42.1 億円	+12.6%

資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。



7.2020年3月期 通期 連結決算予想②

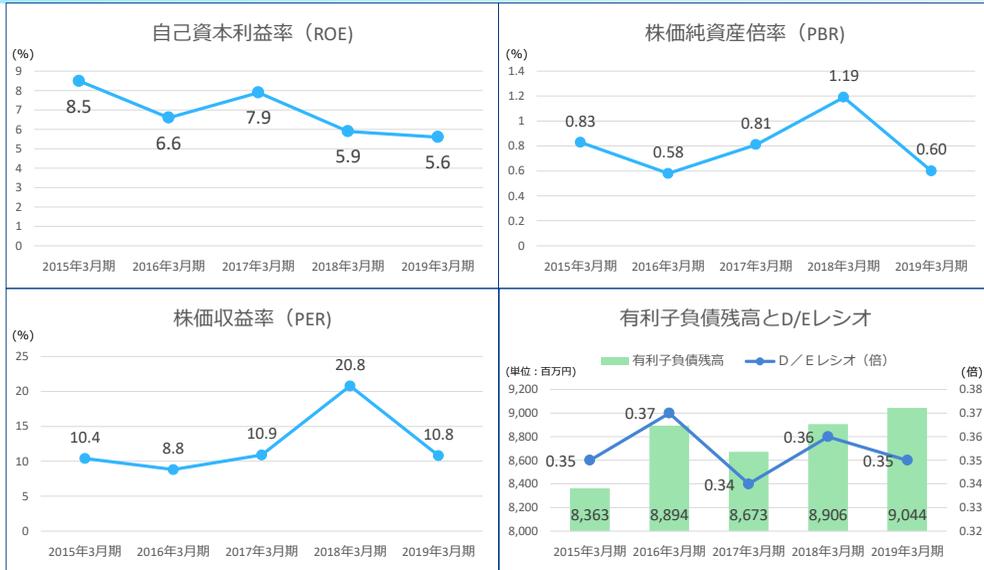
セグメント別 受注高 および 受注残高 予想

	受 注 高			受 注 残 高		
	2020年3月期 2Q実績	2020年3月期 通期予想	増減率予想 (対前期比)	2020年3月期 2Q実績	2020年3月期 通期予想	増減率予想 (対前期比)
電 力 事 業	289 億円	650 億円	+61.7%	377 億円	565 億円	+88.3%
化学・エネルギー 事 業	175 億円	460 億円	△7.6%	650 億円	740 億円	+18.6%
産 業 機 械 事 業	218 億円	590 億円	+23.7%	657 億円	760 億円	+18.2%
素 材 ・ 計 測 事 業	6.7 億円	20 億円	+250.8%	5.5 億円	5 億円	+16.2%
グ ロー バ ル 事 業	60.4 億円	130 億円	+8.3%	33.9 億円	30 億円	+6.4%
合 計	750 億円	1,850 億円	+23.0%	1,725 億円	2,100 億円	+21.7%

資料内の億円単位、百万円単位の数値は、それぞれ億円未満、百万円未満を切り捨てておりますので、個別数値と合計数値・増減額が一致しない場合があります。



8.経営指標の推移



9. ESGの取り組み①



環境配慮型商品の拡販 Environment

2020年3月期第2四半期 環境配慮型商品 受注実績	受注件数	受注高
省エネ・省資源・高効率化	5,666件	486.8億円
公害防止	537件	29.7億円
リサイクル・リユース	399件	6.5億円
合計	6,602件	523.1億円



9. ESGの取り組み②



社会責任（働き方改革） Social



女性の活躍推進

女性総合職採用の強化 女性社員のキャリア形成支援 女性管理職の登用



従業員の健康促進、働きやすい職場環境の充実

有給休暇の取得推進、インフルエンザ予防接種、検診時腫瘍マーカー費用の会社負担、プレミアムフライデー（カジュアルデー同時実施）の導入

人材育成の取り組み

各種階層別研修 海外研修派遣制度

9. E S Gの取り組み③



ガバナンス Governance

コーポレートガバナンス・コードに基づいた施策

取締役会の実効性評価 実施

コーポレートガバナンス改訂対応

指名審査委員会、報酬審査委員会設置

英語での情報提供

招集通知の一部、決算説明会資料、FACT BOOK



10.自己株式取得について

2019年5月10日開催取締役会の決議内容

取得期間	2019年5月13日 ～ 2020年3月19日
取得しうる株式総数	400,000株（上限）
株式の取得価額の総額	7億円（上限）

2019年10月31日現在 上記に基づき取得した自己株式の累計

取得した株式の総数	253,100株（63.3%）
株式の取得価額の総額	329,116,000円（47.0%）